

長崎駅前空間の改善プロジェクト

はじめに

長崎駅前には、県内で交通量をもっとも多く片側3車線の道路があり、路面電車も通っています。また、長崎県は平和公園や出島などの有名な観光地もあり、長崎駅を利用する客も多く、その人々の中には外国人や、障害を持っている人もいます。現在、私は長崎に住んでいるので、実際にこれらの人たちを見ることがあります。私もまた、バスや路面電車をよく利用しますが、バスよりも路面電車の方が、駅が分かりやすく、値段も決まっています。彼らはバスを利用するよりも路面電車を利用する方が多いと思います。最近では、ユニバーサルデザイン化も進み、路面電車の駅には各国の言語で書かれた標識も見ることが出来ます。また、低床式の路面電車も通るようになりました。長崎の良いところは、路面電車の運賃がどこまで行っても100円だということであるので、そう考えると長崎駅前を改善するためには、路面電車が大きな役割を持っていると思います。また、路面電車では行けないところには、もちろんバスも利用されるのでこれからのバスの利用の仕方についても考える必要があると思います。

プロジェクトの課題

現在の長崎駅前は、路面電車を利用する際に必ず歩道橋を使用しなければなりません。歩道橋の道路の両側にはエレベーターが設置されていますが、道路の真ん中にある路面電車の駅には幅が狭いためエレベーターを設置することができないのです。そのため、お年寄りの方や、足の不自由な人たちが長崎駅前から路面電車を利用することが難しい状況があります。また、路面電車の駅のところにエレベーターを設置することが困難であるし、長崎駅前は県内でもっとも交通量が多いことから、横断歩道も簡単には造ることが出来ません。だから、これらのことをどう改善していくかが今後の課題であると思います。

また、路面電車の運賃がどこまでいっても100円であるのに対し、バスは区間ごとに運賃が異なるため、利用者がどうしても路面電車にかたよってしまうと思います。駅と市内を結ぶ100円バスもありますが路面電車よりも区間がせまいため、もっと区間をひろげたら良いと思います。だから、私はバスの利用の仕方などについて、これらの乗り物を使用する人にアンケート調査などをして、よりよく改善していくことも大切だと思います。

プロジェクトの説明

- ①交通バスセンターの様に路面電車センターを現在の二輪置き場の土地を利用して建てる。
 - これにより、路面電車の乗り方が分からない人や、外国人が安心して利用できる。
 - 二輪置き場は長崎駅裏の使われていない土地などに移動する。
- ②路面電車の駅を長崎駅側に移動させる。
 - 路面電車センターと隣り合わせにする。
 - 長崎駅から歩道橋を使用せずに路面電車に乗れるようにする。
 - 路線が道路を横切ることになるが、浜口町の電停付近を見ても分かるようにさほどは問題ないと思われる。
- ③今ある歩道橋はそのまま残し、広場やイベントなどの利用に有効活用する。
 - 長崎駅前をもっと活気のあるところに変える。
- ④長崎駅前のユニバーサルデザイン化（例 標識、音声案内、バリアフリー）
 - 長崎は、ほかの県と比べて多くの観光客が訪れるため。

最後に

これらのことをすることにより、どんな人でも安心して長崎に来ることができるようになると思うし、長崎の発展にもつながると思います。長崎では路面電車の大きな事故は起こったことはないと聞きます。だから、路面電車をもっと多くの人に利用してもらえれば、きっと安全な町づくりにもつながると思います。また、駅前空間の改善として、休日に多くの人が集まる市内の中心の商業施設であるアミュプラザと夢彩都をつないでいる海岸側の道路が今のままではさみしいと思うので、この道を整備することによっても駅前空間の改善につながると 생각합니다。私は、大学のために長崎に居るうちに、いつの間にか長崎を好きになっていました。だから、これからも長崎をもっと良いところにしていきたいです。